



各 位

平成 21 年 7 月 31 日  
 会社名 日本輸送機株式会社(ニチユ)  
 コード番号 7105 (東証・大証第一部)  
 (URL <http://www.nichiyunet.co.jp/>)  
 代 表 者 取締役社長 裏辻俊彦  
 問合せ先 専務取締役 二ノ宮秀明  
 TEL (075) 951-7171

## 業績予想の修正および配当予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成 21 年 5 月 13 日の決算発表時に公表した平成 22 年 3 月期（平成 21 年 4 月 1 日～平成 22 年 3 月 31 日）の、第 2 四半期累計期間業績予想、通期業績予想および配当予想を下記のとおりに修正しますのでお知らせいたします。

### 記

1. 平成 22 年 3 月期第 2 四半期連結累計期間連結業績予想数値の修正（平成 21 年 4 月 1 日～平成 21 年 9 月 30 日）  
 （単位：百万円、%）

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想(A) (平成 21 年 5 月 13 日発表)	36,000	△90	0	△130	△2 円 77 銭
今回修正予想(B)	31,900	△440	△460	△420	△8 円 95 銭
増減額(B-A)	△4,100	△350	△460	△290	—
増減率(%)	△11.4	—	—	—	—
(ご参考) 前期第 2 四半期実績 (平成 21 年 3 月期第 2 四半期)	35,068	1,121	1,275	641	13 円 67 銭

2. 平成 22 年 3 月期通期連結業績予想数値の修正（平成 21 年 4 月 1 日～平成 22 年 3 月 31 日）  
 （単位：百万円、%）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A) (平成 21 年 5 月 13 日発表)	74,200	380	500	160	3 円 41 銭
今回修正予想(B)	67,000	420	300	0	0 円 00 銭
増減額(B-A)	△7,200	40	△200	△160	—
増減率(%)	△9.7	10.5	△40.0	△100.0	—
(ご参考) 前期実績 (平成 21 年 3 月期)	65,606	1,269	1,215	308	6 円 59 銭

3. 平成22年3月期第2四半期累計期間個別業績予想数値の修正（平成21年4月1日～平成21年9月30日）  
（単位：百万円、%）

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想(A) (平成21年5月13日発表)	15,100	△100	0	0	0円00銭
今回修正予想(B)	15,100	80	120	0	0円00銭
増減額(B-A)	0	180	120	0	—
増減率(%)	0.0	—	—	—	—
(ご参考) 前期実績 (平成21年3月期第2四半期)	26,865	709	856	175	3円73銭

4. 平成22年3月期通期個別業績予想数値の修正（平成21年4月1日～平成22年3月31日）  
（単位：百万円、%）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A) (平成21年5月13日発表)	32,000	240	420	200	4円26銭
今回修正予想(B)	31,500	470	540	250	5円33銭
増減額(B-A)	△500	230	120	50	—
増減率(%)	△1.6	95.8	28.6	25.0	—
(ご参考) 前期実績 (平成20年3月期)	49,030	1,029	1,208	△367	△7円84銭

5. 上記修正の理由

(連結業績)

第2四半期連結累計期間の業績予想につきましては、昨年秋以降の急激な景気下落の影響により売上高は当初予想より減少し、利益面では第1四半期における三菱重工フォークリフト販売株式会社の統合に伴う一時費用や部品・整備売上の一時的な低下等により営業損失・経常損失は増加の見込です。四半期純損失は税金費用の増加もあり増加の見込です。

通期連結業績につきましては、売上高は当初予想より減少しますが、利益面では、資材費や経費削減等により営業利益は当初予想より増加の見込ですが、経常利益は為替差損益等により当初予想を下回る見込です。また当期純利益は税金費用の増加により減少の見込です。

(個別業績)

第2四半期個別累計期間の業績予想は、売上高の増減はありませんが、利益面では資材費や経費削減等により営業利益・経常利益は増加する見込です。四半期純利益は関係会社出資金評価損等により「0」の見込です。

通期個別業績予想の主な修正理由は連結業績の修正理由と同様ですが、税金費用の負担が連結ほどではなく、当期純利益は増加の見込です。

## 6. 配当予想の修正

基 準 日	1株当たり配当金（円）		
	第2四半期末	期末	年間
前回発表予想 (平成21年5月13日発表)	—	5円00銭	5円00銭
今回修正予想	—	3円00銭	3円00銭
当期実績	—	—	—
前期（平成21年3月期）	—	5円00銭	5円00銭

## 7. 上記修正の理由

当社は、その期の収益状況に対応し、株主各位への配当の充実と企業基盤確立のための内部留保とのバランスに配慮した利益配分を行うことを基本としております。

当期の期末配当金につきましては、前年度後半以降の急激な環境の変化により当初予想に比し減益となること、また先行きの不透明感もあり、当初より2円減配し1株当たり3円を予定させていただきます。

上記の予想は、本資料の発表日時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後発生する様々な要因により予想値と異なる場合があります。

以 上